

2021年度
決算説明資料

神 鋼 商 事 株式
会 社

証券コード：8075

2022年5月31日

本資料のサマリー

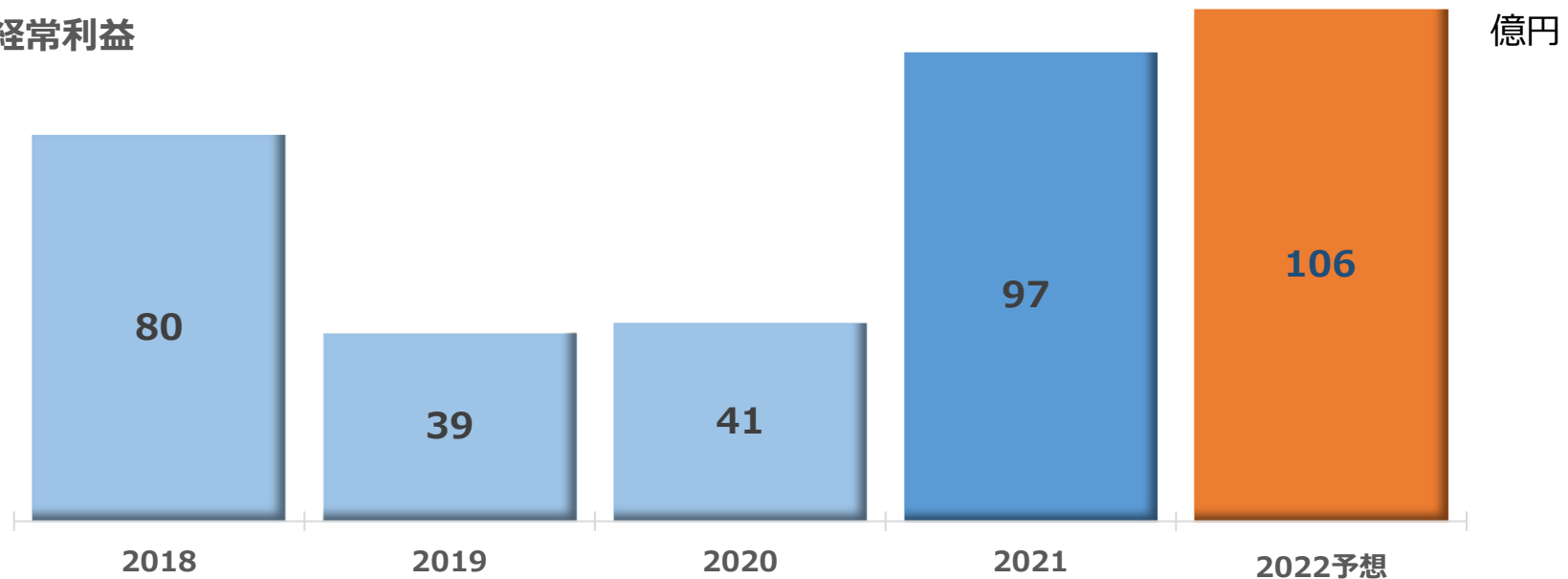
1. 業績概要

- ・ 2021年度通期の経常利益は97億円となり、過去最高益（2007年度：94億円）を更新
 - 自動車向けの需要回復により、鉄鋼と非鉄金属の各セグメントが牽引
 - 前回（10月発表：82億円）から15億円の上方修正
- ・ 2022年度通期の経常利益は106億円と2021年度の業績を超過する見込み
 - 21年度の事業環境維持、更に北米でのエネルギー市場回復を見込む

2. 中期経営計画の進捗（重点実施施策の取組み）

3. サステナビリティの取組

経常利益



1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗
3. サステナビリティ
4. 参考資料

1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗
3. サステナビリティ
4. 参考資料

2021年度 連結損益計算書

- 経常利益は97億円、前年同期比+57億円の増益（約2.4倍へ）
自動車を中心とした需要の増加及び鋼材価格の上昇により、鉄鋼と非鉄金属の各セグメントの売上総利益が増加
- 当期純利益は71億円、前年同期比+49億円の増益（約3.2倍へ）

(単位：億円)

| | 2020年度 | 2021年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|--------|--------|--------------|------|--------|
| 売上高 | 7,842 | 4,944 | - | - |
| 売上総利益 | 266 | 335 | +70 | 26.2% |
| 販売管理費 | △221 | △ 235 | △14 | - |
| 営業利益 | 45 | 101 | +56 | 125.7% |
| 経常利益 | 41 | 97 | +57 | 139.2% |
| 当期純利益 | 22 | 71 | +49 | 224.7% |
| 配当金(円) | 50 | 245 | +195 | - |

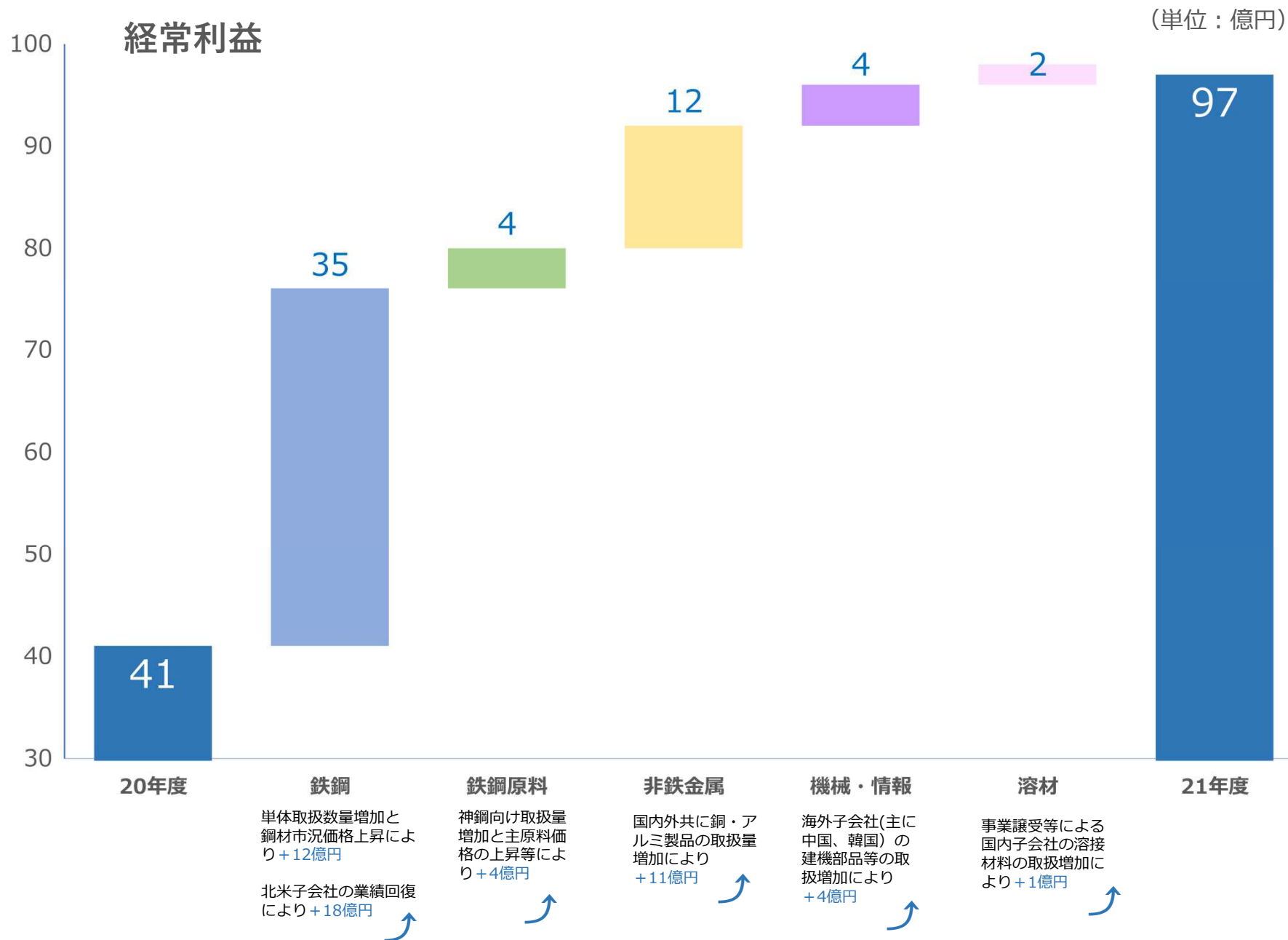
※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高については対前年同期増減額、増減率は記載しておりません。

2021年度 セグメント別経常利益増減

(単位：億円)

| | 2020年度 | 2021年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|-----------|--------|--------|-----|--------|
| 鉄 鋼 | 6 | 41 | +35 | 565.1% |
| 鉄 鋼 原 料 | 3 | 7 | +4 | 127.0% |
| 非 鉄 金 属 | 19 | 30 | +12 | 63.6% |
| 機 械 ・ 情 報 | 12 | 16 | +4 | 29.2% |
| 溶 材 | 1 | 3 | +2 | 126.2% |
| 合 計 | 41 | 97 | +57 | 139.2% |

2021年度 セグメント別経常利益増減

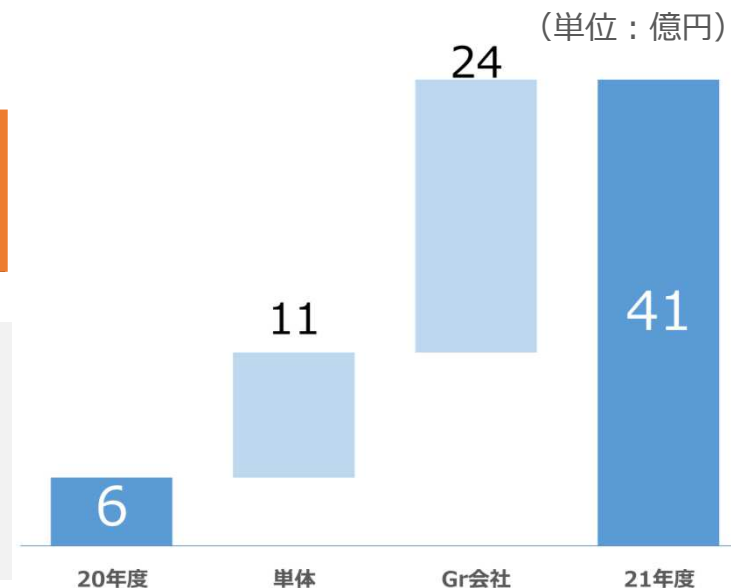


2021年度 セグメント別経常利益増減 (詳細)

鉄 鋼

| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 増減 |
|------|--------|--------|-----|
| 経常利益 | 6 | 41 | +35 |

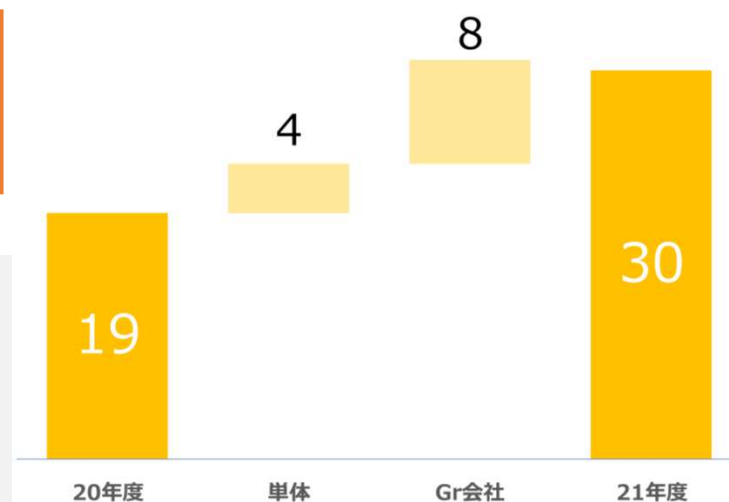
- 単体は、主に取扱量の増加と鋼材価格の上昇により増益
- Gr会社は、北米子会社にてエネルギー市場向け市況の回復(+12億円)等により、また、その他主要海外子会社で取扱数量増加等により増益



非鉄金属

| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 増減 |
|------|--------|--------|-----|
| 経常利益 | 19 | 30 | +12 |

- 単体は、銅製品およびアルミ製品の取扱量増加及び評価益を含む地金影響により増益
- Gr会社は、主に中国子会社の自動車向けアルミ板材の取扱量増加、国内子会社の増収等により増益

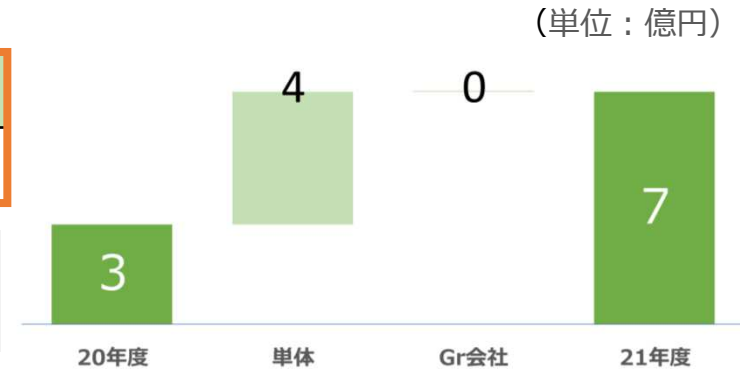


2021年度 セグメント別経常利益増減 (詳細)

鉄鋼原料

| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 増減 |
|------|--------|--------|----|
| 経常利益 | 3 | 7 | +4 |

- 主に神鋼向け取扱量が増加し、主原料価格も上昇したことから増益



機械・情報

| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 増減 |
|------|--------|--------|----|
| 経常利益 | 12 | 16 | +4 |

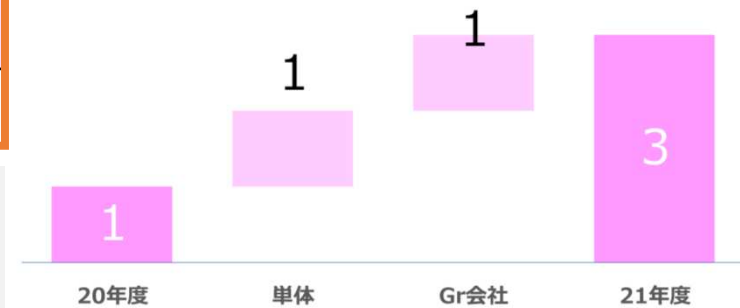
- Gr会社(主に中国、韓国)の建機部品等の取扱いが増加した結果、増益



溶材

| 年度 | 2020年度 | 2021年度 | 増減 |
|------|--------|--------|----|
| 経常利益 | 1 | 3 | +2 |

- 単体は、溶接関連機器の海外向け取引増加により増益
- Gr会社は、建築鉄骨、建設機材、自動車向けが堅調に推移した結果、増益



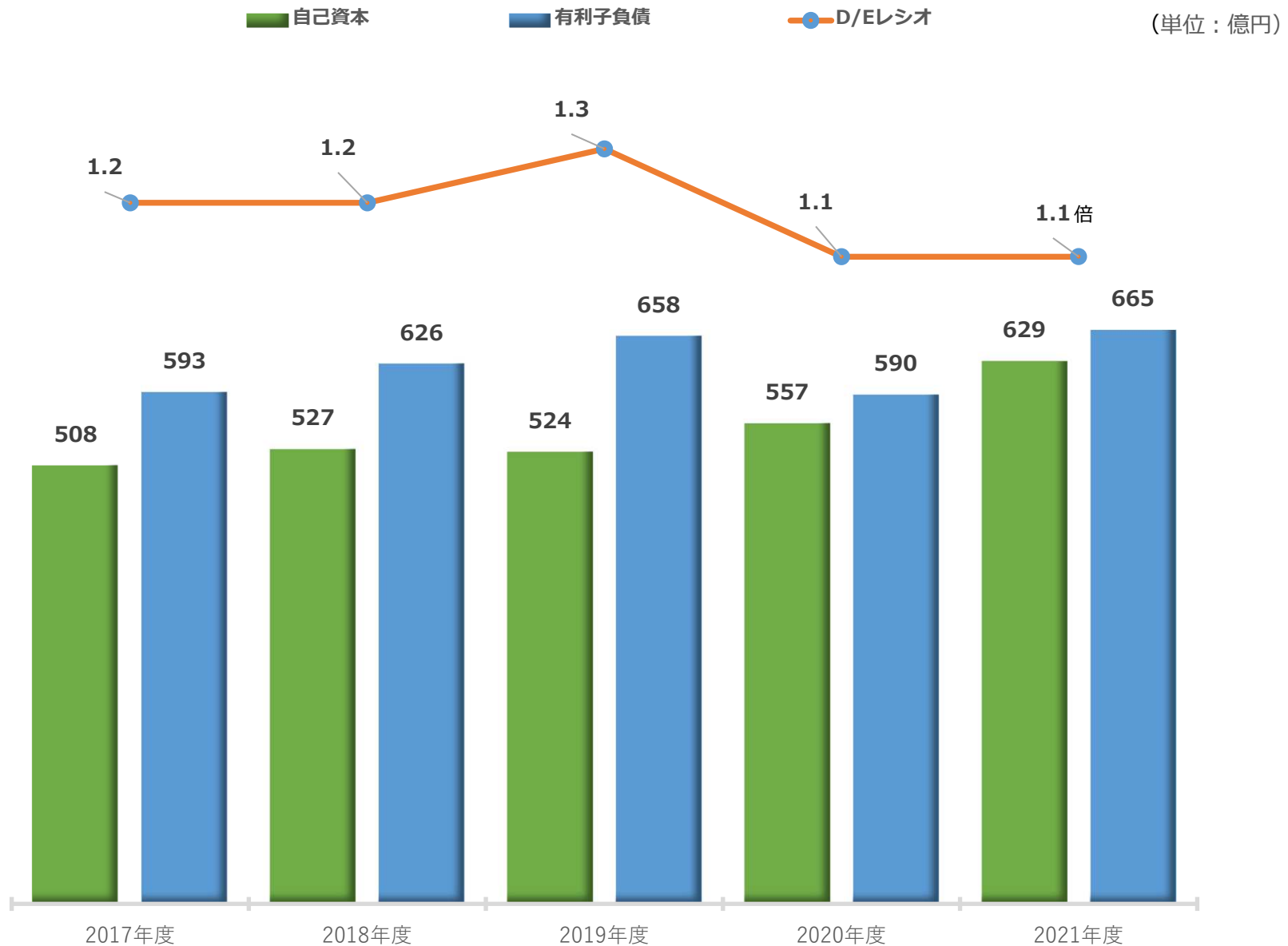
バランスシート of 状況

(単位：億円)

| | 2020年度 | 2021年度 | 増減額 |
|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 流動資産 | 2,401 | 3,166 | +765 |
| 固定資産 | 461 | 474 | +13 |
| 有形・無形固定資産 | 88 | 94 | +6 |
| 投資その他の資産 | 373 | 380 | +7 |
| 資産合計 | 2,862 | 3,640 | +778 |
| 流動負債 | 2,023 | 2,793 | +770 |
| 固定負債 | 268 | 210 | △58 |
| 負債合計 | 2,290 | 3,003 | +712 |
| 自己資本 | 557 | 629 | +72 |
| 非支配株主持分 | 14 | 8 | △6 |
| 純資産 | 572 | 638 | +66 |
| 外部有利子負債 | 590 | 665 | +75 |
| 自己資本比率 | 19.5% | 17.3% | △2.2% |
| D / E レシオ | 1.1倍 | 1.1倍 | 0.0倍 |
| 1株当たり純資産 | 6,295.5円 | 7,107.8円 | |

バランスシート状況

- D/Eレシオ： 1.1倍（参考：ネットD/Eレシオ 0.8倍）



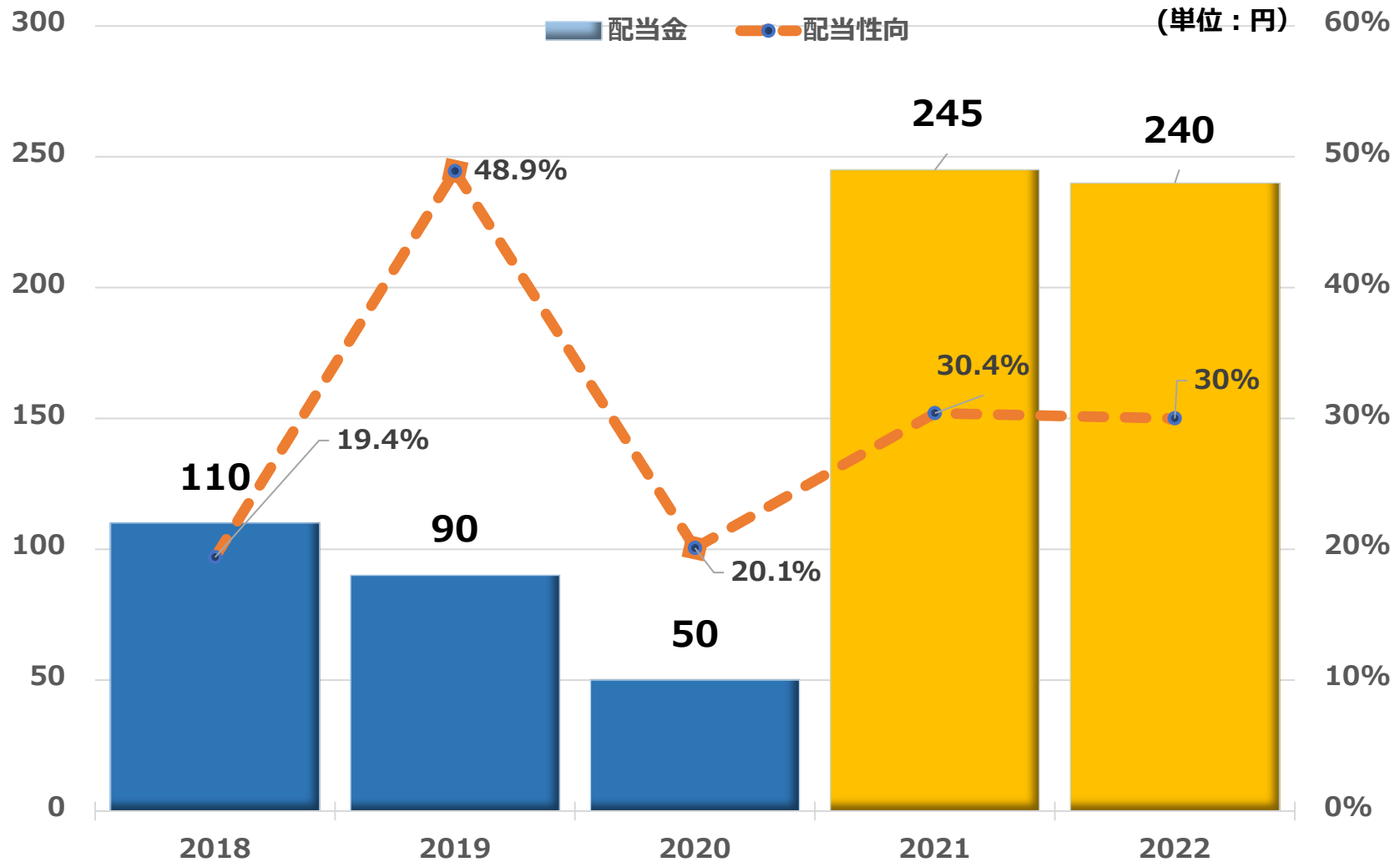
キャッシュフローの状況

(単位：億円)

| | 2020年度 | 2021年度 | 増減額 |
|----------------------------------|--------|--------|------|
| 営業活動によるCF (営業CF) | +149 | △93 | △242 |
| 投資活動によるCF (投資CF) | △20 | △8 | +12 |
| フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF) | +128 | △101 | △229 |
| 財務活動によるCF (財務CF) | △68 | +41 | +109 |
| 総合キャッシュフロー (フリーキャッシュフロー+財務CF) | +60 | △60 | △120 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 224 | 154 | △70 |

配当推移

- 中期経営計画にて目標配当性向を30%と設定
- 今期は30.4%と目標配当性向を達成



2022年度 業績予想・セグメント別増減要因

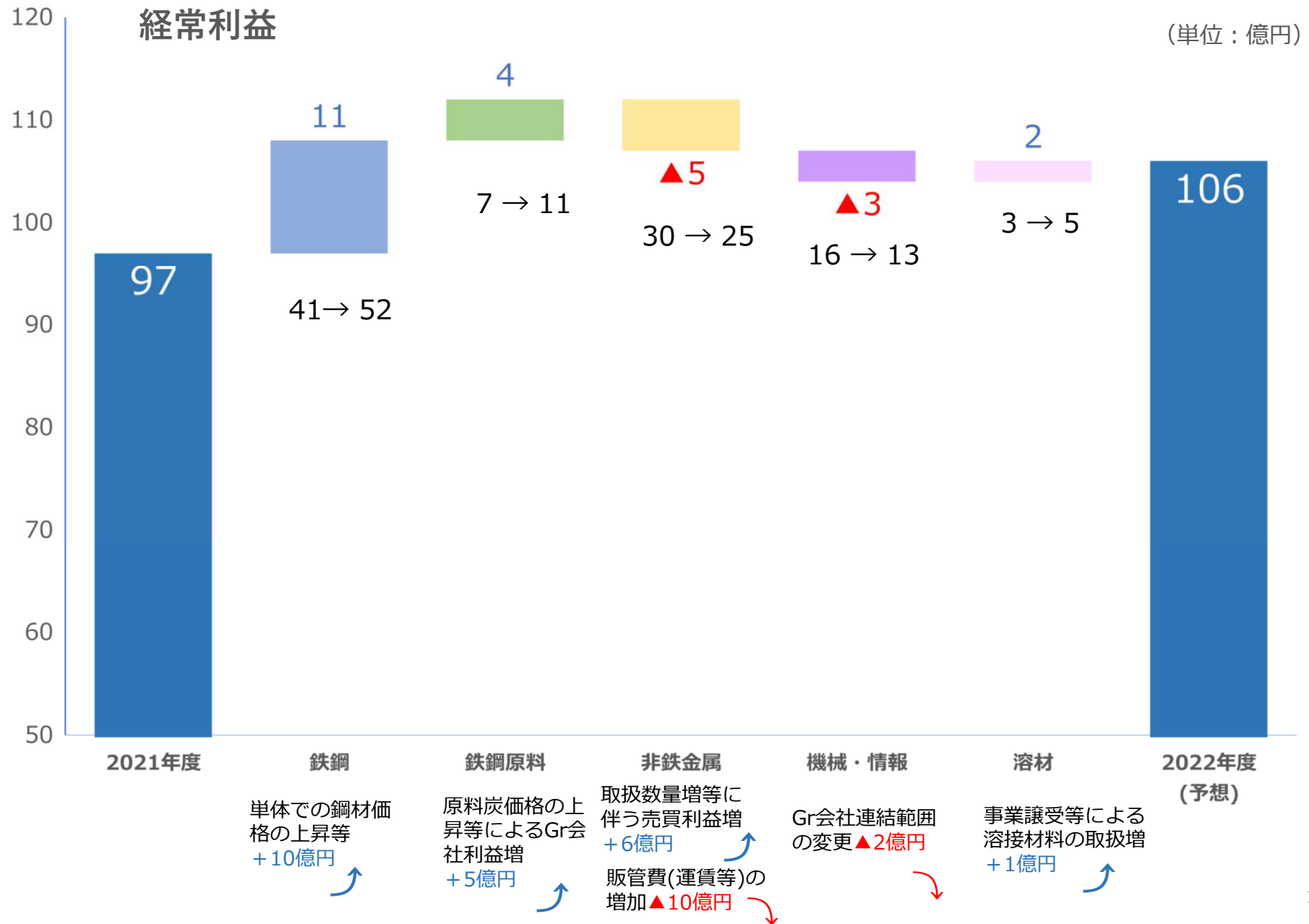
- 2022年度通期の経常利益は前期比約1.1倍の106億円を予想。
- 前期に引き続き、鉄鋼・非鉄金属セグメントが牽引
- 配当見通しは240円（中間120円、期末120円予想）

（単位：億円）

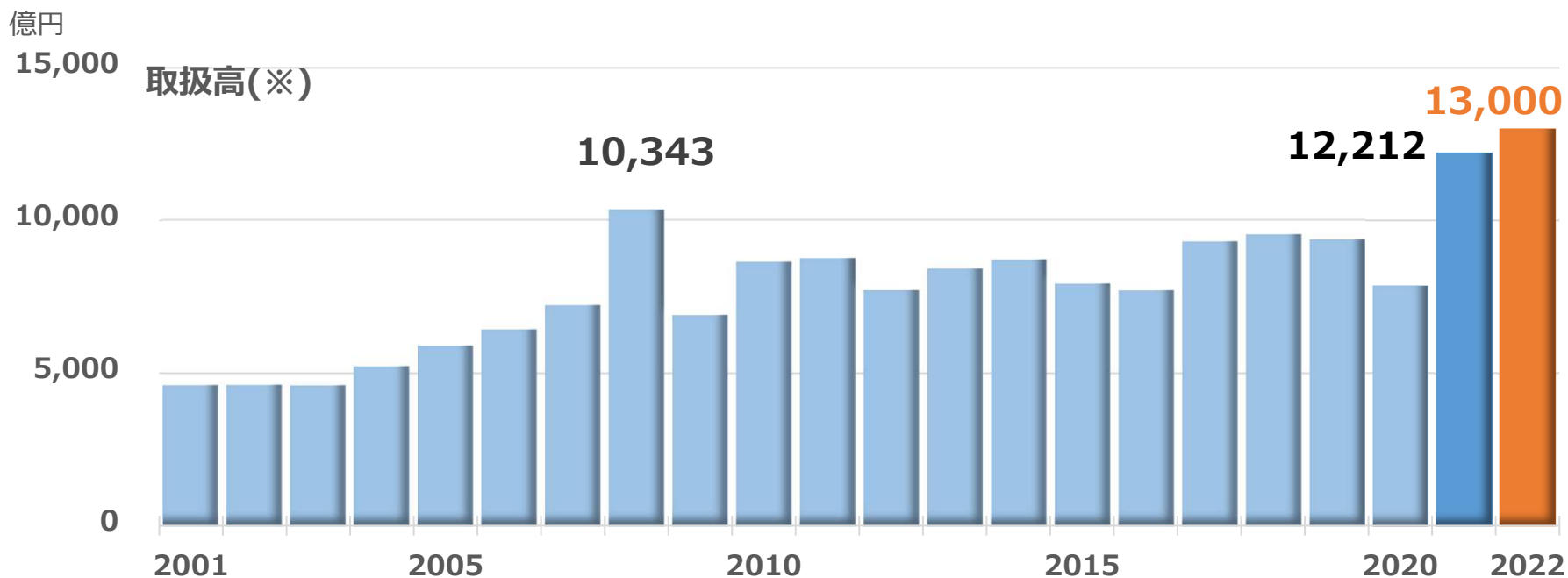
| | 2021年度 | 2022年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|----------------|--------|--------|------|--------|
| 売上高 | 4,944 | 5,400 | +456 | 9.2% |
| 営業利益 | 101 | 97 | △4 | △3.5% |
| 経常利益 | 97 | 106 | +9 | 9.0% |
| 当期純利益 | 71 | 70 | △1 | △1.9% |
| 1株当たり 当期純利益 | 805.9円 | 790.5円 | △15円 | △1.9% |
| 配当金（円） | 245円 | 240円 | △5円 | — |

※ 21年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結売上高は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

2022年度 業績予想・セグメント別増減要因



取扱高・経常利益の推移



(※) 取扱高・・・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しなかった場合の売上高



1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗
3. サステナビリティ
4. 参考資料

全体戦略

- ・ 関係会社の機能最適化と戦略的活用
- ・ 事業ポートフォリオの見直し

収益力の強化

- ・ 神戸製鋼グループ中核商社としてグループビジネスの深化を追求する
- ・ SDGsを意識した、環境リサイクルビジネスの拡大
- ・ 海外拠点主導のビジネス開拓
- ・ 新事業開発の強化
- ・ DX時代に適したビジネスモデルの創出・提案

投資の促進

- ・ 北米、アジアでのサプライチェーンの深化と創造 (M&A推進)
- ・ 事業投融資の加速
- ・ 製造拠点の設備投資

商社機能の強化

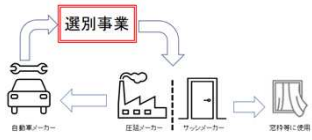
経営基盤の強化

- ・ 人事制度改革
- ・ コーポレート機能の改革
- ・ 財務体質の強化
- ・ DX推進

中期経営計画 重要KPIの進捗

| | 中計目標値 | 21年度実績 | 21年度達成度 | 22年度予想 |
|--------|-------------|--------|---------|--------|
| 経常利益 | 23年度 95億円以上 | 97億円 | 達成 | 106億円 |
| ROE | 9%以上 | 12.0 % | 達成 | 10.9% |
| ROA | 3%以上 | 3.0 % | 達成 | 3.1% |
| 自己資本比率 | 20%以上 | 17.3 % | 未達 | 19.1% |
| D/Eレシオ | 1.0倍程度 | 1.1 倍 | 未達 | 1.0倍 |

中期重点施策の実施状況



自動車用アルミ板の
リサイクル事業

- 既存の取り組み
- 新規の取り組み



蘇州神商金属(アルミコイルセンター)の設備投資
NEV向けアルミ加工能力増強



バイオマス燃料供給
GGL認証の取得



北米2拠点(GBP、AWP)での
自動車向け特殊鋼2次加工能力増強

| | 日本 | 中国・東アジア | 東南アジア | 北米 | 欧州 | インド・中東 アフリカ・その他 |
|----------------------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------------|--------|--------------------|
| 自動車分野 (各種輸送機を含む) | ● 特殊鋼 | ● アルミ板材 ● 特殊鋼 | ● コネクタ(銅) ● 溶接材料 | ● 特殊鋼 | ● 非鉄加工 | |
| プライマリー原料分野 (製鋼原料、地金) | | ● 神戸製鋼Gr 非鉄事業原料調達 | ● 合金鉄 | | | |
| 環境リサイクル分野 | ● アルミ屑 | | ● バイオマス燃料 ● 雑電線屑 | ● 冷鉄源調達 ● バイオマス燃料 | | ● 非鉄原料 |
| 建築分野 | ● 建設鋼材・ 建材製品 | | ● 非鉄加工 | | | |
| エレクトロニクス分野 (二次電池、半導体向け) | ● 電池部材 ● ターゲット材 | ● アルミ精密加工 | ● アルミ厚板切断 | | | |
| 建設機材分野 | ● 溶接材料 ● 建機部品 | | ● 機械メンテナンス | | | ● 建機部品合併 ● 厚板溶断 |



当社子会社エスシーエールによる
溶接関連資機材販売事業の事業譲受



半導体・FPD用イオン注入装置の製
造を手がける神商精密器材(揚州)
を子会社化



ベトナム・アルミ切断加工会社設立予定
KTNメタルベトナム(仮称)
(写真はKTN)



Track Design India 設立
建設機械向け部品製造の合併会社

主な投資計画

● 今中期経営計画投資規模 200億円

| 主な投資内容 | 21年度実績 | 22年度予想 |
|------------------------------------|---|---|
| 設備投資、 M & A | <ul style="list-style-type: none"> ○北米/特殊鋼2次加工拠点・設備増強 ○豪州/炭鋳設備投資 ○中国/アルミコイルセンター・設備増強 ○M & A案件 ○その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ベトナム/アルミ厚板切断拠点設立 |
| | 計 21億円 | 計 48億円 |
| DX関連投資 | <ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上/働き方改革 ○お客様視点の提供価値創出 ○その他 | |
| | 中期計画 計 40億円 | |
| 海外チャンネル 拡大、 サプライチェー ン機能強化 | 中期計画 計 50億円 | |

Topics 全体戦略

収益力強化

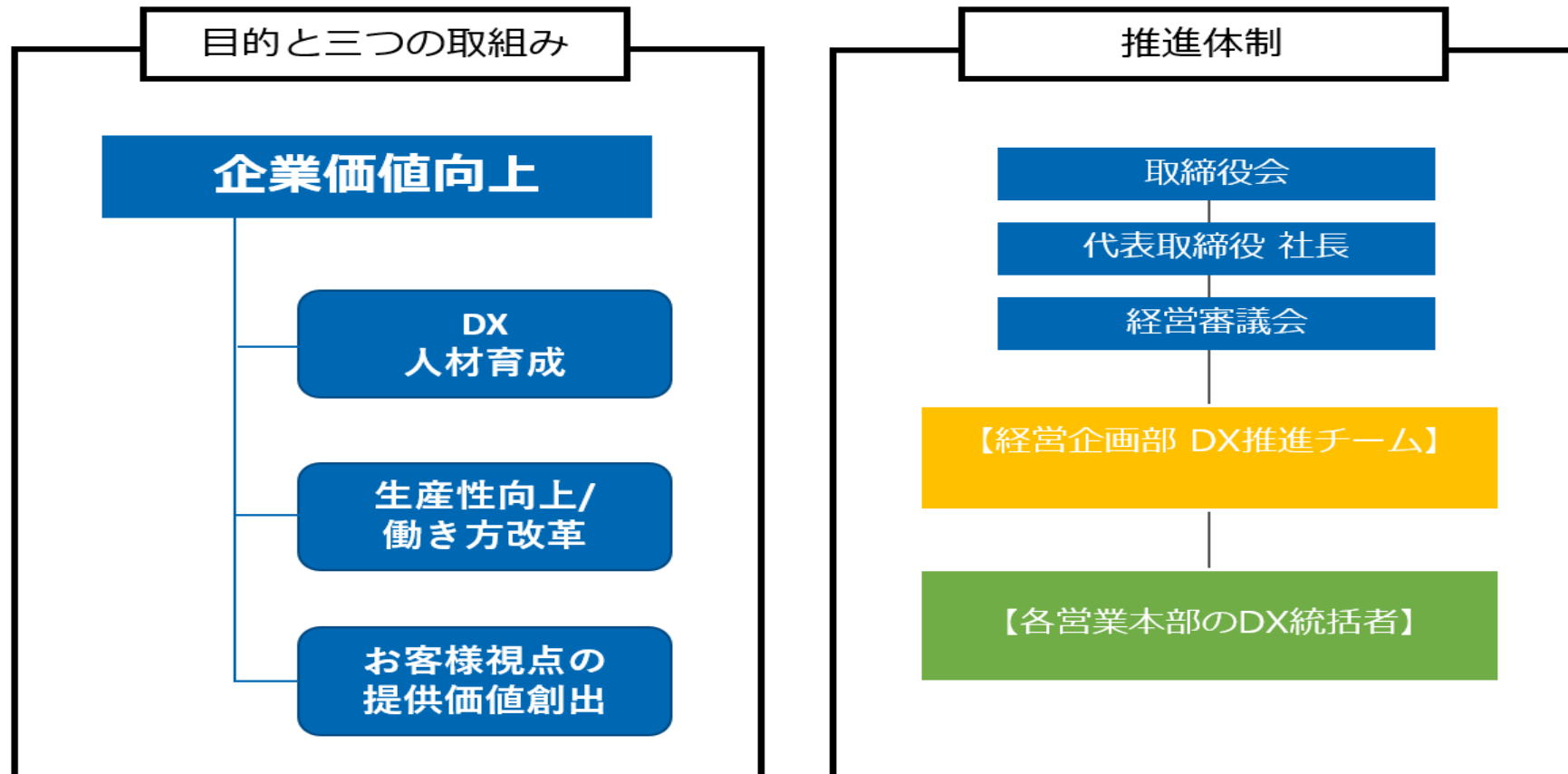
投資促進

商社機能の強化

経営基盤の強化

DXビジョンと推進体制

当社は、中期経営計画にて掲げておりますDX推進の目的を「**企業価値向上**」と定め、「**DX人材育成**」「**生産性向上/働き方改革**」「**お客様視点の提供価値創出**」の3つのアプローチを同時並行で推進してまいります。



Topics 全体戦略

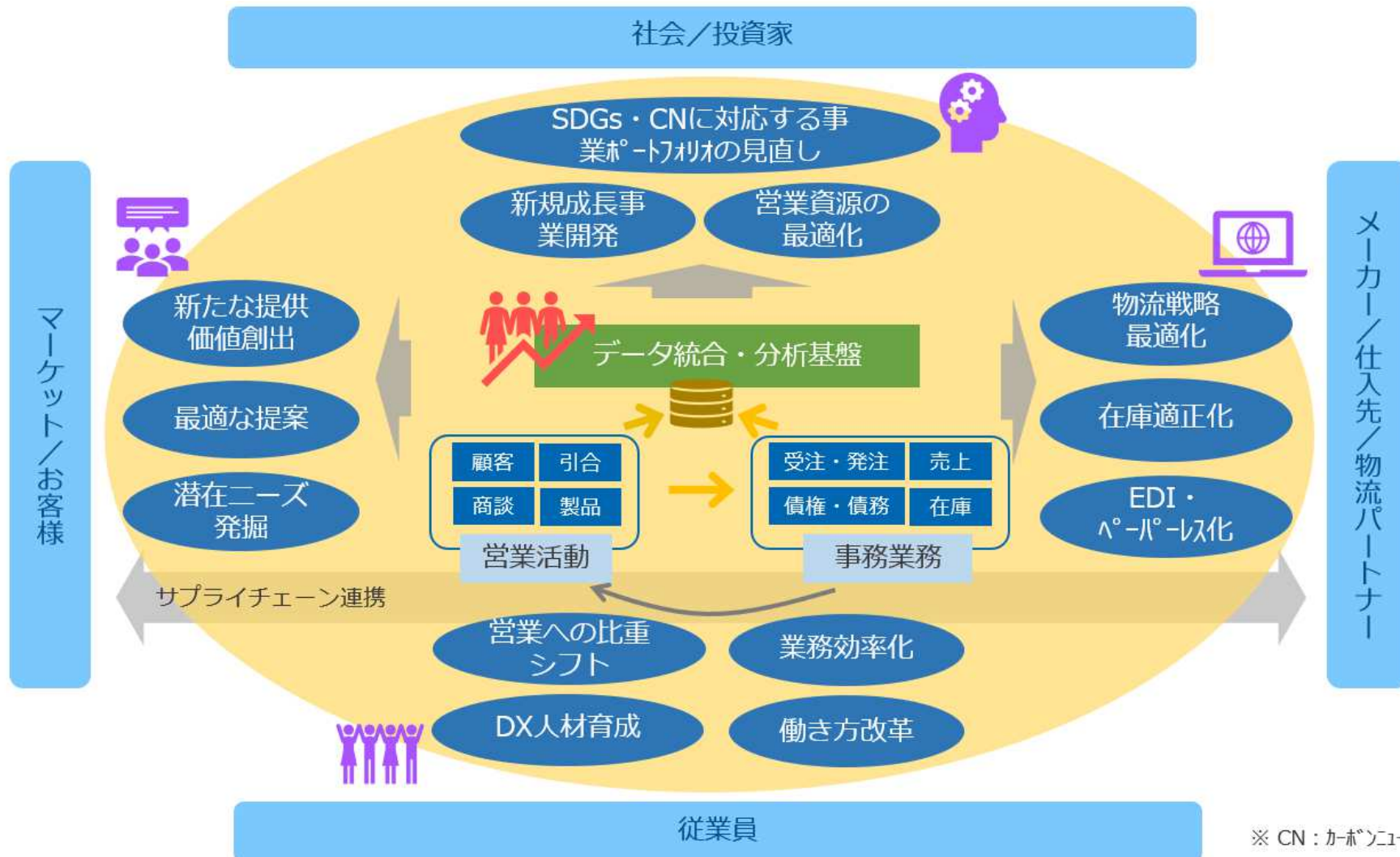
収益力強化

投資促進

商社機能の強化

経営基盤の強化

DXにより目指す将来像



※ CN : カーボンニュートラル

Topics 全体戦略

収益力強化

投資促進

商社機能の強化

経営基盤の強化

新人事制度の制定

2022年度より、10年後のありたい姿である長期経営ビジョン<明日のものづくりを支え社会に貢献する商社>を目指して、当社が求める「自ら学び、行動する人」を育成する目的で、新人事制度を制定いたしました。

- ・ キャリアルートの多様化
- ・ 事業部間の人事異動の促進
- ・ 地域限定職の新設
- ・ 評価制度の見直し
- ・ 評価の見える化
- ・ 教育体系の整備



サステナビリティ推進体制

資源の枯渇、地球温暖化、所得格差と社会不安、という将来への懸念が叫ばれる中、当社は、SDGsの「誰一人取り残さない (leave no one behind)」の基本理念に賛同し、2022年度より、**サステナビリティ委員会**を発足させ、**サステナビリティ基本方針と重要課題 (マテリアリティ)**を特定いたしました。持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【マテリアリティ】

1. 明日のものづくりへの貢献
2. コンプライアンスを遵守した企業活動
3. 地球環境に配慮した活動
4. 多様性を尊重する企業文化
5. 個人の成長の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Topics 中期重点施策（産業分野別）

自動車

プライマリー原料

環境リサイクル

建築

エレクトロニクス

建設機材

鉄鋼

北米での自動車向け特殊鋼2次加工能力増強

GRAND BLANC PROCESSING L.L.C
(GBP) 外観



AIKEN WIRE PROCESSING, L.L.C.
(AWP) 外観



既存STC炉



- ・北米におけるCH市場※1の規模は大きい
- ・特殊鋼2次加工メーカーの淘汰を見据えての差別化投資
GBPではSTC炉※2と伸線機
AWPでは伸線機※3を増強
- ・地理的優位性の活用と品質力、納期対応力の強化

⇒ 詳細は、[21年度中間決算説明資料（P15）](#)

- ※1 CH（Cold Heading）冷間圧造用線材で主に自動車ファスナー部品に使用
- ※2 Short Time Cycle 焼鈍炉で、多品種に対応可能な焼鈍炉
- ※3 線径変更の為、線材を引抜く伸線加工機械

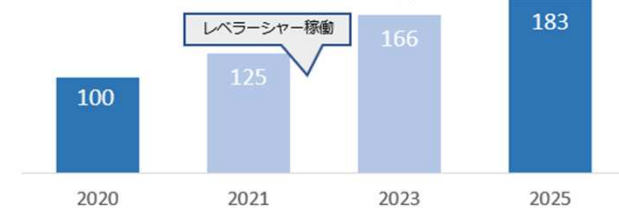
非鉄金属

中国でのNEV向けアルミ加工能力増強

蘇州神商金属有限公司(アルミコイルセンター)外観



年間加工数量伸び率（2020年を100とした場合）



- ・新工場用地の確保、広幅板材加工が可能なレベラーシャー※1の導入
- ・中国における急激なNEV市場※2の拡大への対応
- ・生産能力と顧客ニーズ対応力の強化

⇒ 詳細は[21年度中間決算説明資料（P16）](#)

- ※1 ロールで板を押え素材の反り・曲がりを矯正した上でせん断する機械
- ※2 NEV（New Energy Vehicle）はEV, PHEV, FCVを含む

Topics 中期重点施策（産業分野別）

自動車

プライマリー原料

環境リサイクル

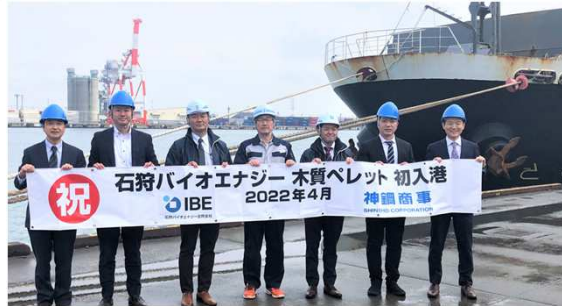
建築

エレクトロニクス

建設機材

鉄鋼原料

バイオマス燃料供給



- ・国内3ヶ所のバイオマス発電所と長期燃料供給契約締結
- ・23年度の34万トンから30年度迄に50万トンの供給目標
- ・燃料のPKS^{※1} はインドネシアとマレーシアから、木質ペレットは^{※2} ベトナムから供給
- ・継続可能性と追跡可能性を担保するGGL認証取得
- ・22年4月に木質ペレット輸入船が石狩港へ初入港

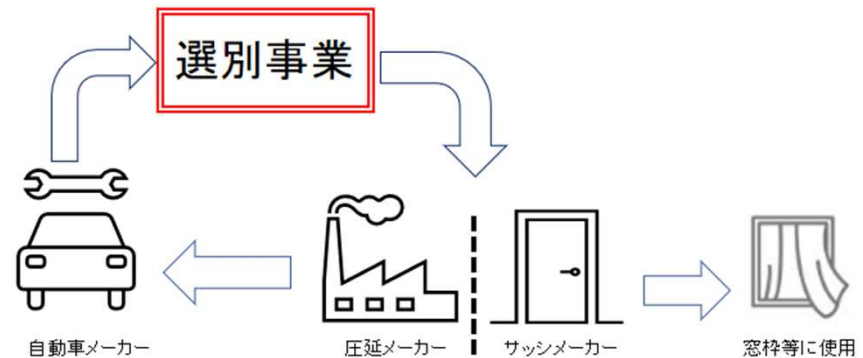
※1 Palm Kernel Shellの略称。パーム椰子の種から採油した後の殻。水分含量が少なく発熱量が高いことから、近年バイオマスエネルギーとして注目。

※2 製材時に発生する端材を粉碎後、圧縮成形した固形燃料。燃焼時に出るCO2は樹木成長時に吸収したCO2の為、カーボンニュートラルに貢献。

非鉄金属

自動車用アルミ板のリサイクル事業

アルミリサイクル事業のスキーム図



- ・自動車メーカーから出たアルミスクラップを仕入当社協力工場にてスクラップの破砕、選別
- ・選別後、需要家別に精度の高いアルミスクラップを圧延メーカーや、サッシメーカーに納入
- ・循環型社会に貢献
- ・このリサイクルスキームを日本だけでなく、今後海外においても展開することを目標

Topics 中期重点施策（産業分野別）

自動車

プライマリー原料

環境リサイクル

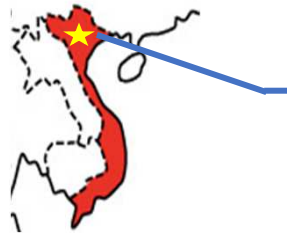
建築

エレクトロニクス

建設機材

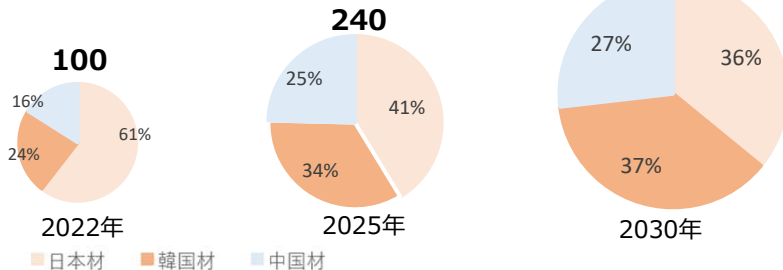
非鉄金属

ベトナムにアルミ厚板切断加工会社設立



ベトナム・ハノイ近郊のBac Ninh省（130万人）にあるDong Tho工業団地に設立予定。韓国系のエレクトロニクス関連企業も多数進出。

取扱量（2022年度を100とした場合の推移予想）



- 世界のエレクトロニクス産業を牽引する韓国企業が多く集積するベトナムに、アルミ厚板切断加工会社を設立（22年7月稼働予定）
- 日本トップクラスの技術を用い少量多品種加工が可能。エレクトロニクス分野だけではない幅広い分野への応用が可能
- 2030年の販売量は2022年の約4倍を計画

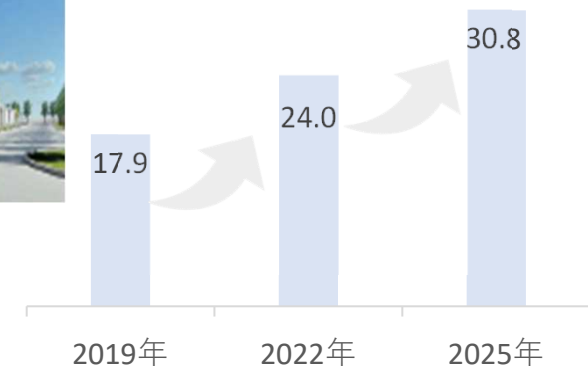
機械情報

インド建機部品製造会社への出資

Track Design India
完成予想図



インド国内ショベル新車需要推移予想
(単位：千台)



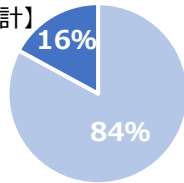
出典：インド建設機械工業会

- 経済成長を続けるインドに於いて、インフラ整備に伴う建設機械業界の市場拡大を鑑み、建設機械業界向け部品製造・販売会社を設立。当社は33%を出資（67%：大昌鍛造株式会社）
- コベルコ建機インドをはじめ、他建機会社への部品納入を見据えている
- 2022年度内稼働予定

中期経営計画 トレード・非トレードビジネスの進捗

トレードビジネスと非トレードビジネスの比率（経常利益ベース）

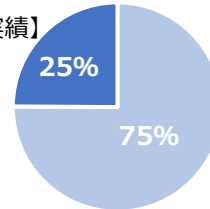
【前中計】



■ トレード ■ 非トレード

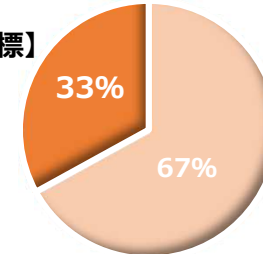
※トレードには商社業態のビジネスの利益を積算

【21年度実績】



・21年度 中国のアルミコイルセンターでEV向けの取扱量が増加した事等により、非トレードビジネスの業績が好調

【30年度目標】



非トレードビジネス

- 北米/特殊鋼2次加工拠点・設備増強
- 中国/アルミコイルセンター・設備増強
- ベトナム/アルミ厚板加工会社設立・稼働

- インド/建機部品製造・販売会社への出資
- 自動車用アルミ板のリサイクル事業
- 中国/半導体・FPD用イオン注入装置製造会社の買収
- 中国/ミルクラン事業の立ち上げ
- バイオマス燃料の供給事業化

既存
ビ
ジ
ネ
ス

新規
ビ
ジ
ネ
ス

- 神戸製鋼所向け原料取引の維持拡大
- 自動車向け特殊鋼の拡販
- 冷鉄源のグローバル拡販
- 溶接材料と溶接ロボットの拡販

- 回転機メンテナンスビジネスの拡大
- バイオマス燃料の安定供給
- 洋上風力発電向け製品の拡販

トレードビジネス

○ 21年度着手 ● 22年度以降予定

1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗
3. サステナビリティ
4. 参考資料

サステナビリティ基本方針と重要課題（マテリアリティ）

【サステナビリティ基本方針】

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざすことを企業理念に掲げています。

この理念の下、世界や私たちを取り巻く環境問題や社会問題に対して、事業活動を通じて様々な取り組みを進めます。また、公正かつ透明なガバナンスを推進します。

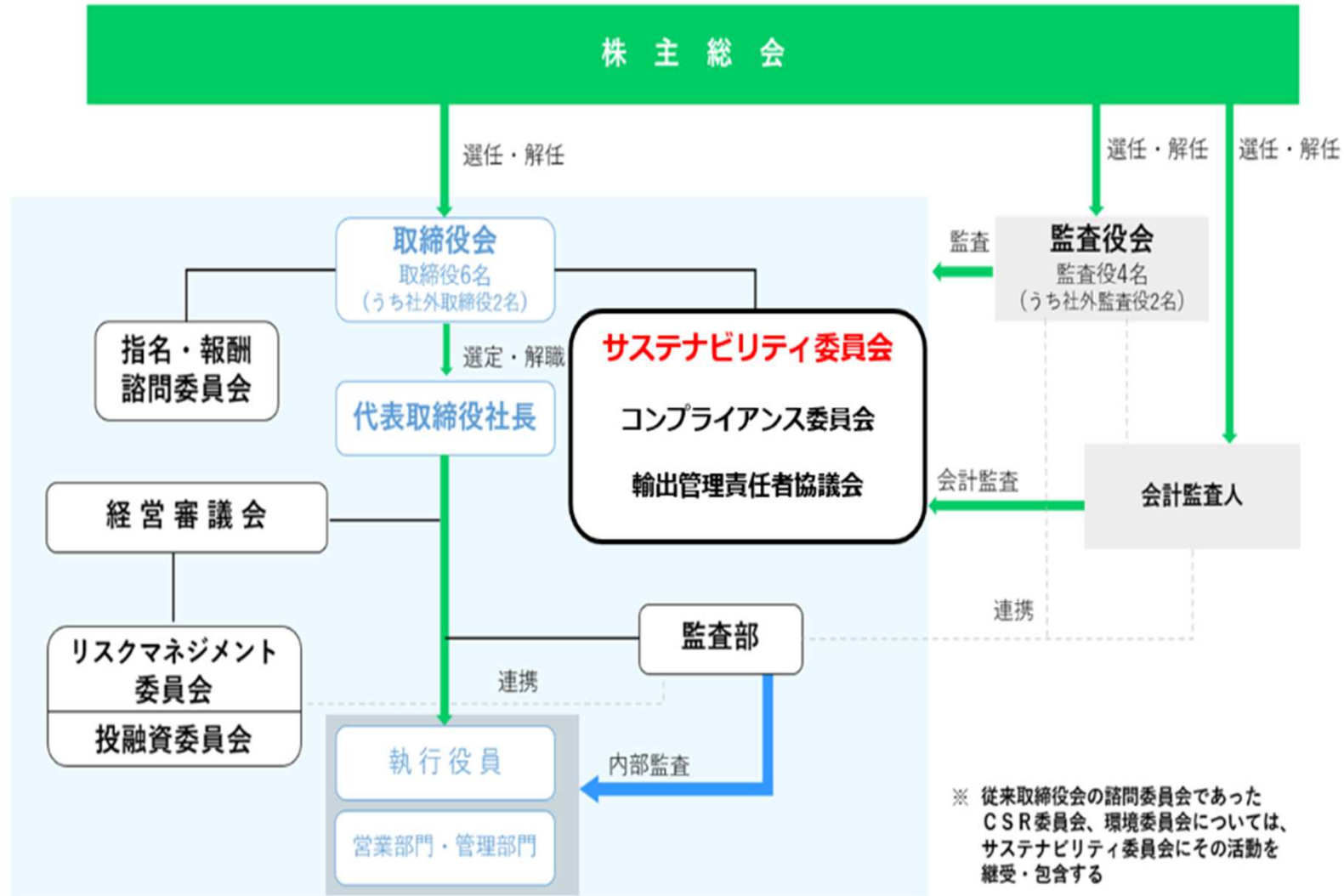
私たちは、すべての人々が望む持続可能な未来の社会に貢献します。

【マテリアリティ】

1. 明日のものづくりへの貢献
2. コンプライアンスを遵守した企業活動
3. 地球環境に配慮した活動
4. 多様性を尊重する企業文化
5. 個人の成長の実現



コーポレートガバナンス体制（サステナビリティ委員会）



ESGへの取組み

Environment

Social

Governance

E



Environment

明日のものづくりへの貢献

地球環境に配慮した活動

主な取組み

| 本部 | 項目 | 内容 | |
|------|-------------------------|--|--|
| 鉄鋼原料 | バイオマス燃料 (GGL認証) | バイオマス発電所に納入されるバイオマス燃料（PKS・木質ペレット）を22年度から供給を開始、23年度には34万t取扱いを見込み、さらに30年迄に50万tを目指す。また継続可能性と追跡可能性を担保するGGL認証を昨年12月に取得。 | |
| 非鉄金属 | 蘇州神商金属 自動車軽量化 アルミ | 中国において自動車軽量化を目的としたアルミ部材需要の伸長に対応し、アルミ材加工能力を強化。新工場用地の確保とレベルシャーを導入し、新エネルギー車（NEV）普及の後押し。 | |
| 非鉄金属 | 自動車用アルミ板の リサイクル事業 | 自動車メーカーから出たアルミスクラップを仕入、当社協力工場にてスクラップの破碎、需要家要求仕様に選別し、圧延メーカーやサッシメーカーに納入。 循環型社会に貢献。 | |

ESGへの取組み

Environment

Social

Governance



明日のものづくりへの貢献
多様性を尊重する企業文化

個人の成長の実現

主な取組み

| 本部 | 項目 | 内容 | |
|------|-----------------|---|--|
| 非鉄金属 | 神商精密器材（揚州）の子会社化 | 中国で半導体製造装置部品の製造を行っている神商精密器材（揚州）を子会社化し、材料調達から据付・SV派遣まで一連のサービス提供により付加価値を最大化したサプライチェーンを構築。 | |
| 全社 | 人事制度改革 | 10年後のありたい姿である長期経営ビジョン「明日のものづくりを支え社会に貢献する商社」を目指して、当社が求める「自ら学び、行動する人」を育成する目的で、新人事制度を制定。 | |
| 全社 | ダイバーシティの推進 | マテリアリティの中の【多様性を尊重する企業文化】の実現の為、女性のコアスタッフ職採用や、外国籍従業員採用を推進。 | |
| 全社 | パートナーシップ構築宣言 | パートナーシップ構築宣言に賛同し、サプライチェーンである取引先の皆様や、価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップの構築を推進。 | |

ESGへの取り組み

Environment









Social

Governance



コンプライアンスを遵守した企業活動

主な取り組み

| 本部 | 項目 | 内容 | |
|----|----------------|---|---|
| 全社 | プライム市場選択 | 東京証券取引所の市場再編に伴いプライム市場を選択することを決議し、22年4月より移行。プライム上場企業に求められる「企業価値の向上」や「高いコーポレートガバナンス水準の維持」に覚悟をもって取り組んでいく。 |   |
| 全社 | サステナビリティ委員会の設置 | 22年4月にサステナビリティ委員会を新設し、既存の環境委員会やCSR委員会を分科会として設置。サステナブルな社会実現の為、社内体制を強化。 |   |
| 全社 | 財務数値目標の達成 | 中期経営計画で目標としていた配当性向30%を実施。また21年度のROEは12%となり、目標としていた9%を達成。今後より一層の財務基盤の充実と目標KPIの実現を目指す。 |   |
| 全社 | 貿易管理の徹底 | 経済産業省より求められる安全保障貿易管理に係る自主管理体制を整備しており、全営業本部が参加する輸出管理責任者協議会において新法令や輸出動向の共有、定期的な社内監査、社内教育等を実施。その他、税関よりコンプライアンスの優れた輸出者として特定輸出者の承認(AEO (Authorized Economic Operator)制度)を取得している。 |   |

1. 業績概要
2. 中期経営計画の進捗
3. サステナビリティ
4. 参考資料

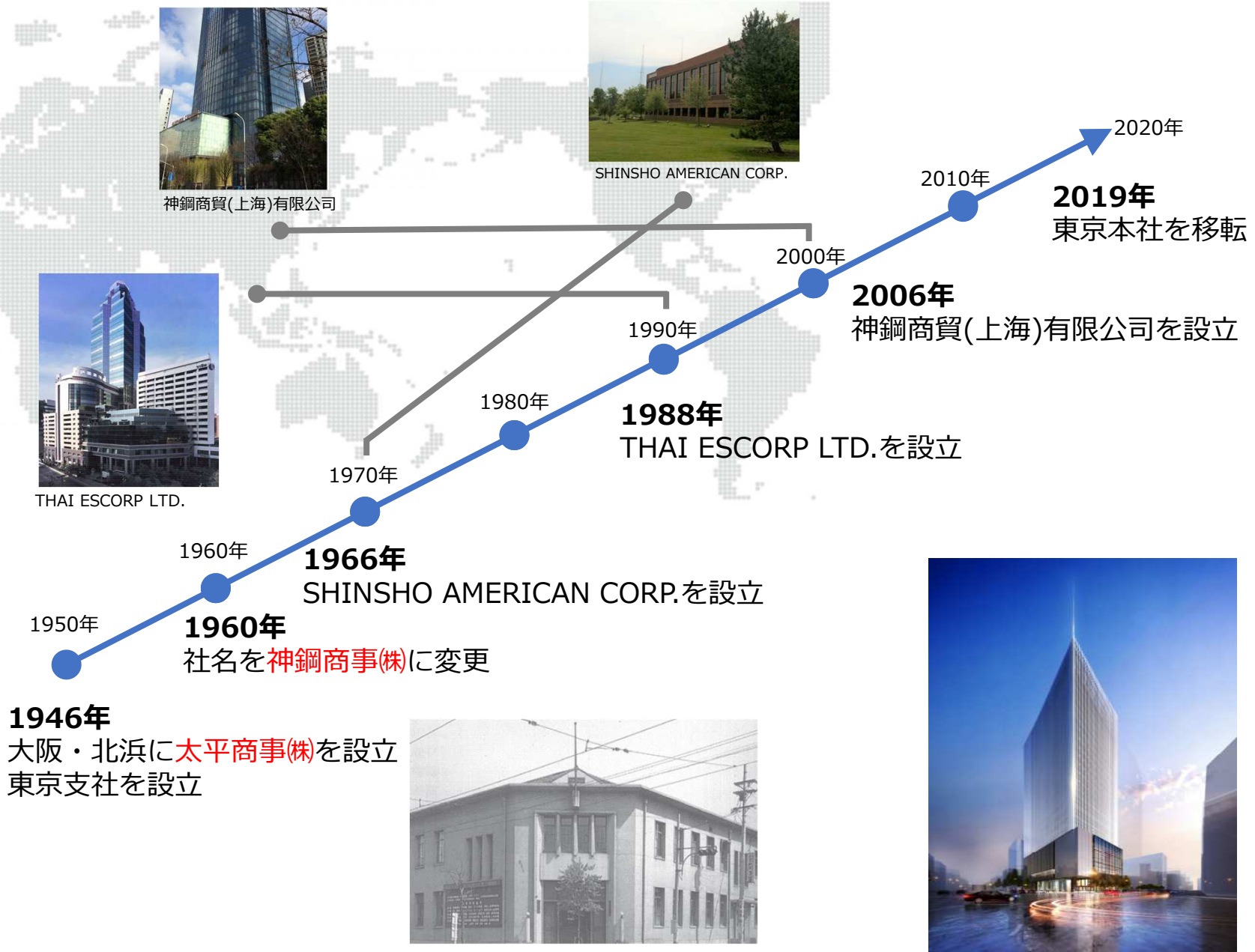
会社概要

神鋼商事株式会社

(2022年3月31日時点)

| | |
|-------------|--|
| 業 態 | 商 社 |
| 証 券 コ ー ド | 東京証券取引所第一部(8075) |
| 住 所 | 【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋) |
| 創 業 | 1946年11月12日 |
| 連 結 子 会 社 数 | 38社 |
| 従 業 員 数 | 連結：1,396名 (外、平均臨時雇用者数 101名) 単体： 440名 (外、平均臨時雇用者数 58名) |
| 単 元 株 式 数 | 100株 |

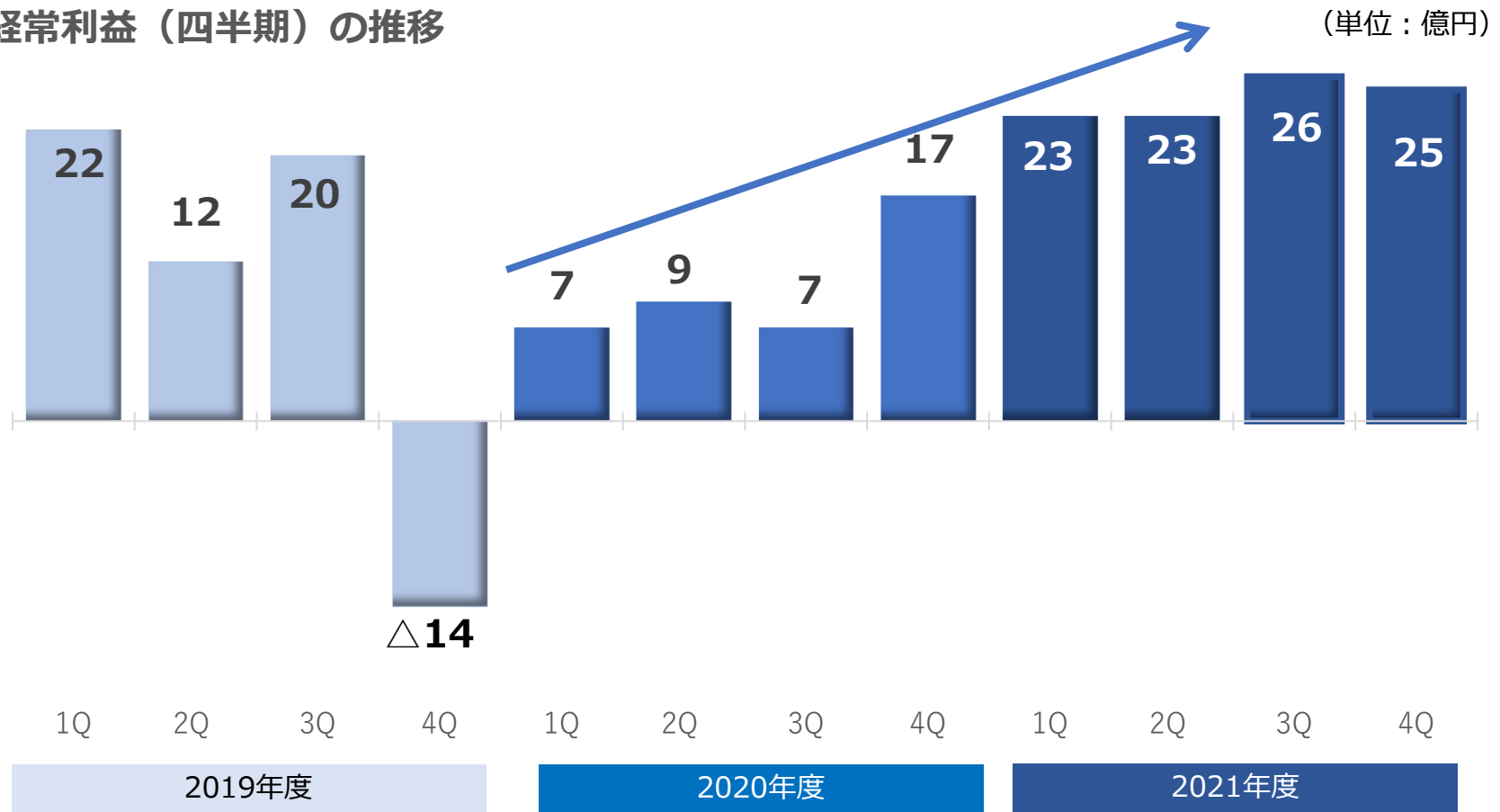
会社沿革



経常利益の推移（四半期ベース）

- 2021年度の経常利益は97億円、前年比57億円の増加（約2.4倍へ）
- コロナの影響や鉄鋼セグメントでの減損により赤字に陥った2019年度4Q以降概ね右肩上がり増加

◆ 経常利益（四半期）の推移

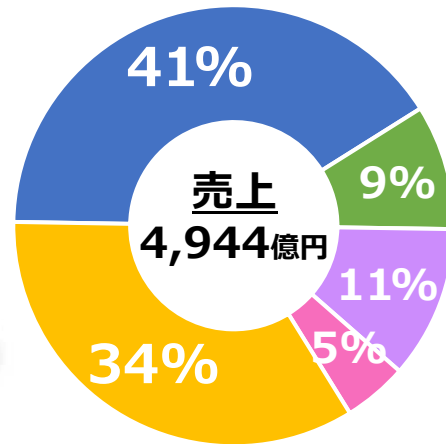


セグメント別事業概要

- 当社は、5つのセグメントで事業を展開
- 鉄鋼・非鉄金属で売上の約75%、経常利益の約73%を占める（2021年度）

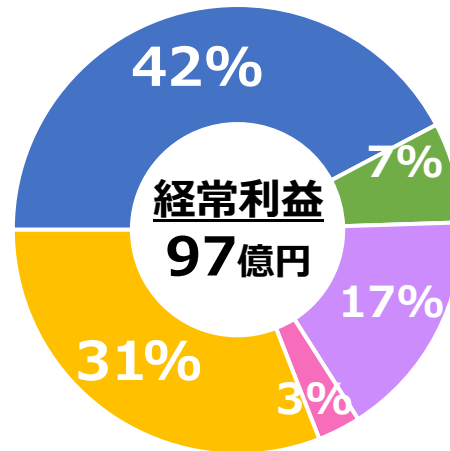
鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



非鉄金属

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



鉄鋼原料

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



機械・情報

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



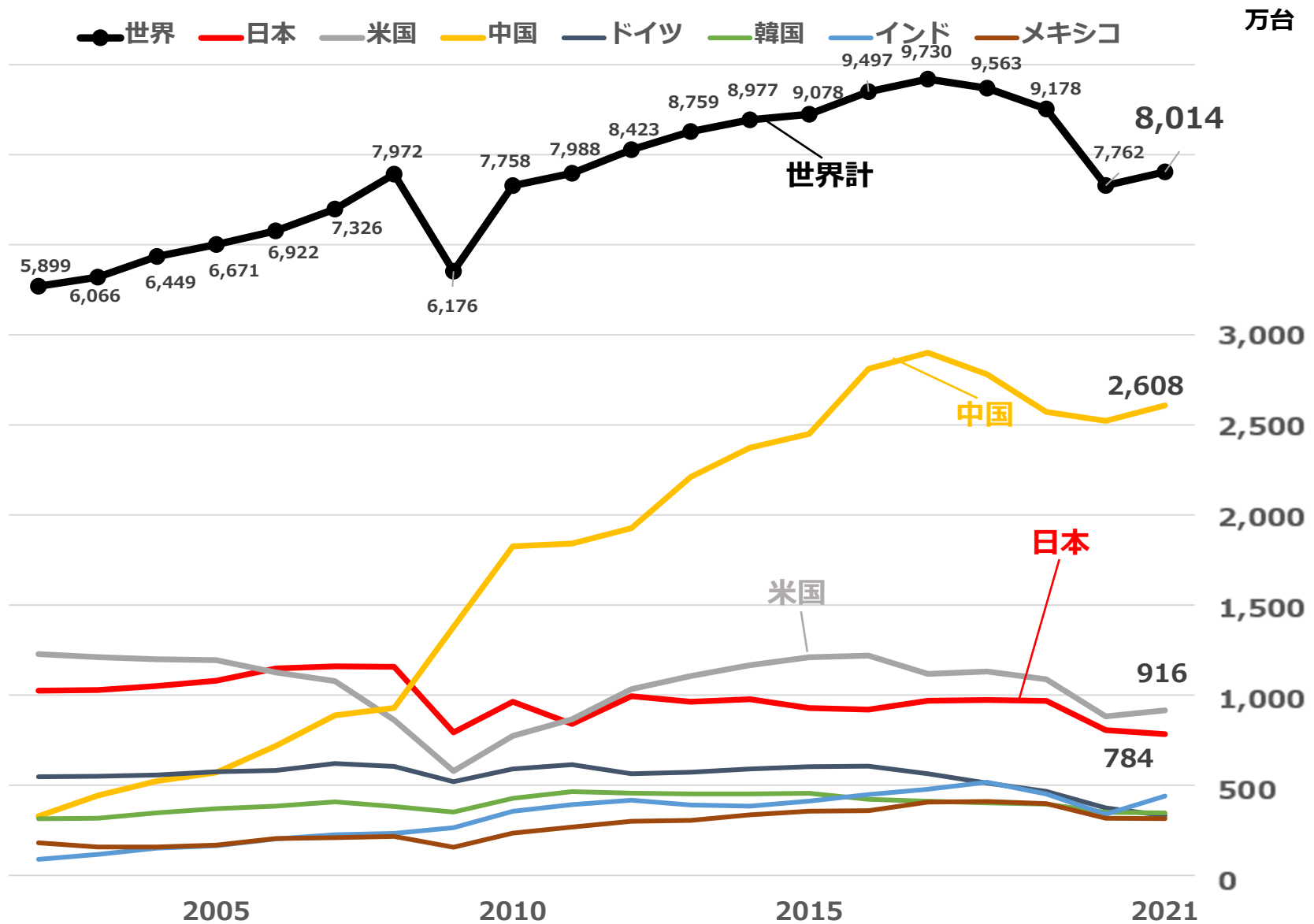
溶材

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供



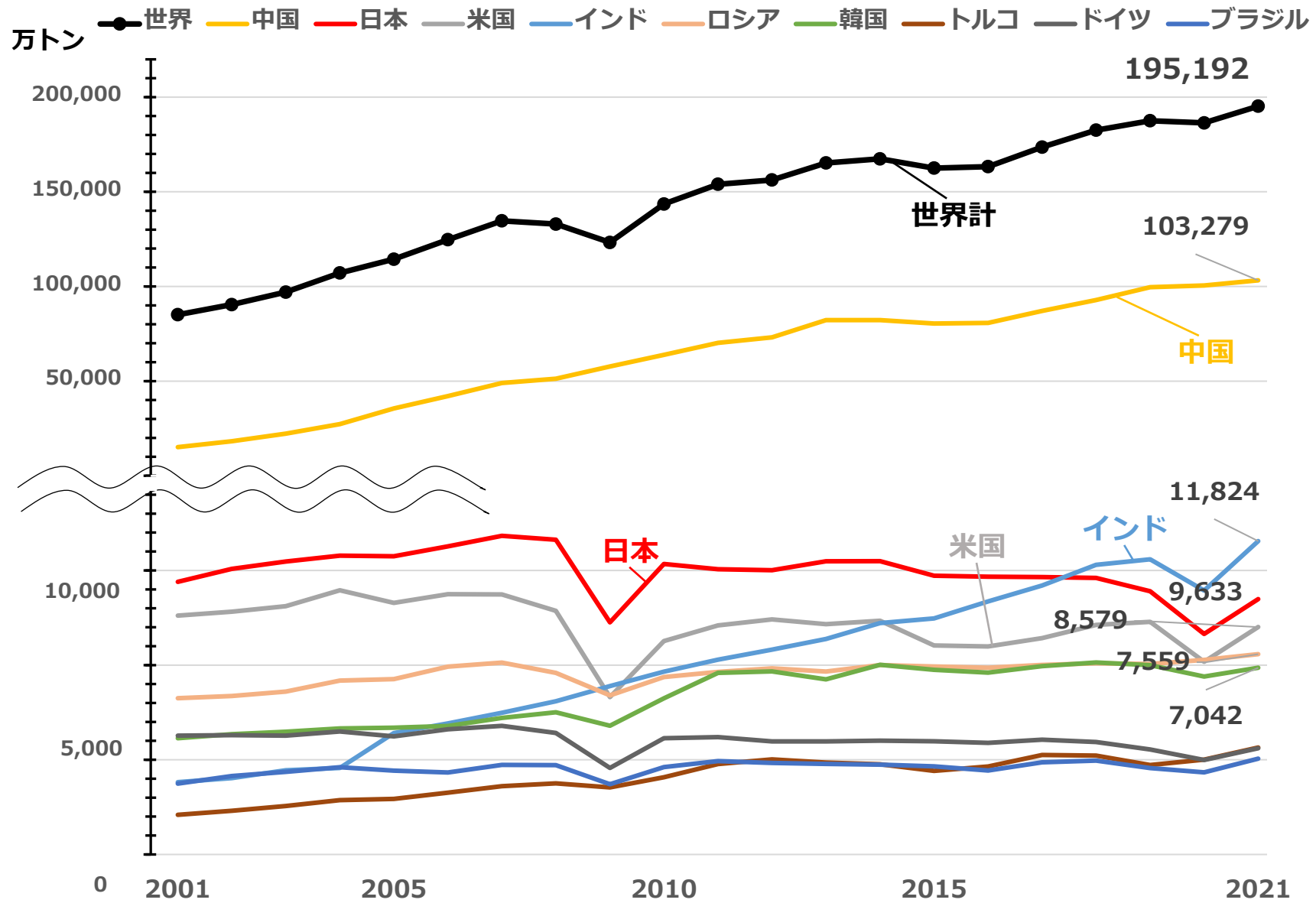
市況データ「自動車生産台数の推移」

(出所：OICA「Production Statistics」)



市況データ「粗鋼生産量の推移」

(出所 : WSA「Statistical reports」)



企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。